

第2回如水作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月19日 18時～19時30分

開催場所: 如水コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	4名	3名	4名	4名

- あいさつ、アイスブレイク
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。
その後、第1回と同じ4つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①
第1回で出合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②
再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。
- まとめ
つながり、支え合いのあるまち: このテーマに関するグループ発表では、近隣で徒歩圏内に体操やサロンといった集まりやすい場所があることが望ましく、自治会とも柔軟かつ適度な距離感で繋がれる環境づくりが必要であると報告しました。また、子どもを預かってくれる場所、多世代や多文化共生を目的とした交流の場が必要であることが挙げられました。これには外国人住民、障害のある方、子育て世代、そして婚活などを目的とした交流が含まれます。地域強制社会の実現に向けて相互理解を深めること、住民間での気軽な情報共有や横の繋がりを促進すること、地域内での相談サポート体制を整えること、そして学校と地域との交流機会を増やすことが提案されました。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、犯罪が少なく誰でも安心して歩ける治安の良い環境や、段差の解消や道路幅の確保を含む歩行者にとって安全な交通インフラの整備を重要視しています。さらに、子供たちが安全に暮らせる子育てしやすい環境、地震などの災害発生時に被害を最小限に抑える対策、そして引きこもりの方や外国人を含め、誰もが孤立することなく安心して暮らせる社会の構築が提案されました。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このグループは、6つのテーマに分類しました。これには、仕事をしながら安心して子育てができる環境づくりや、高齢者や障害のある方が気軽に集まり相談できる場所の提供が含まれます。また、道路環境の整備や公共交通機関の利便性向上、近隣の病院やスーパーなど既存の生活

サービスの活用、そして図書館や遊び場といった生活を充実させるための新たなサービスの拡充などが含まれています。

- 地域が元気になるまち: このテーマでは、8つのグループに分類しました。特に、施設については、スポーツ施設についての希望が多く含まれています。お店については、スーパーなどの買物施設よりも食べ物のお店の希望が多く挙げられました。また、あまり他の校区では挙げられないきれいなまちというテーマも分類できました。

